



令和元年 所信 未来創り 交流人口の 増加を目指して

Aiming for an increase
in visiting population



会 長
小 沼 郁 互

元号が変わる節目の年に、新時代の礎を築くことができるようなまちづくりの一助になればと思います。会長職を拝命いたしました。ご周知のとおり、日本全体が、とりわけ地方は少子高齢化、人口減少の流れの中にいます。

この流れは経済マーケットのシュリンクを意味し、予ねての高度経済成長を基盤とした豊かさ、便利さの高度化を再現する流れではありません。生活する上で何が豊かさなのかを見つめなおす時代のように思います。

私たちが住む小名浜は180度を太平洋(海)に面しています。また、サンシャインシティいわきを標榜するいわき地区は日照時間が長いという自然の恵みを有しています。日頃何げなく接している地域特性がゆえに、私たちはその素晴らしさと活用の必要性に気づき

きれていないのかもしれない。令和元年に活動を開始する小名浜まちづくり市民会議は、今まで以上に、小名浜が持つ地域特性を生かし、持続可能なまちづくりに挑戦していきたいと思えます。

まちに賑わいがあるということとは、笑顔あふれる人々の騒がしいくらいの活動や往来があるということだと思います。人が活動することでニーズが生まれ、それを補う活動が生まれます。

本来なら定住人口を増やし、人々の活動を増やすことが大切だと思いますが、それには時間がかかります。アクアマリンパーク交流人口50万人構想を継承し、この地を訪れてこの土地の良さを知り、頻度の高いリピーターづくりを経て、海辺からまちなかへの人の流れをつくりだし、その中からいわきへ、小名浜への居住を望む人の数が増えたと願います。もちろん訪問者にとつて魅力あるところは、居住者にとつても魅力ある地域であることが必要になります。この

しおさい かわら版

発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
令和元年9月20日

委員長紹介

視点を軸に活動を展開していきたいと思えます。一年間、よろしくお願い致します。

会員拡大・交流
委員会
小松 証

歴史と文化づくり
委員会
小野 浩

アクアマリンパーク
運営委員会
岩田 雅光

まちなか潮目
委員会
安斉 和為

グランドデザイン
委員会
岩瀬 利哲



写真提供：蛭田 眞志

第66回 いわき花火大会を開催



大会長
火委員
花実行
委員長
い
わ
き
実
正 木 好 男

本年のいわき花火大会実行委員会の行事が無事に終了しました。

改めて協賛して頂きまして多くの方々及び協賛企業の皆様方に衷心より御礼を申し上げます。

海遊祭の2日間は、主にスタッフが主役となりジェットスキーを運転しお子さんたちを楽しませる海のイベント、いわき踊り小名浜大会は参加団体の老若男女が自ら踊り手で参加するイベント、花火大会は多くのスタッフ、ボランティア

アの方々の努力により、多くの観客を楽しませるいわき最大のイベント。

これらの三種三様のイベントを支えているのは、いわき花火大会実行委員会のスタッフの献身的な努力であります。この事を多くの方々に知ってもらおうべきと、必ず花火大会の開会式冒頭の挨拶で話をさせて頂いております。

いずれにしても、いわきを代表するビックイベントであり、今後も引き継いでいかななくてはなりません。そのためには多くの市民各層の方々のイベントに寄せられる愛情が必要であります。今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。

奇跡の防波堤



▲壁画全景、防波堤裏にも設置されている

去る8月24日(土)、小名浜港「奇跡の防波堤壁画」見学会が開催されました。これは、2003年に国土交通省小名浜港湾事務所発注の防波堤工事を請負った東洋建設東北支店が工事のイメージアップとして企画、小名浜港に最も近いいわき市立小名浜東小学校の6年生86名の皆さんに総合学習及び卒業記念として、防波堤工事に使うL型ブロックに壁画(テーマ:魚)を描いていただき、防波堤上に据付後に遊覧船(ふえにつくす)で壁画を見学しました。

あれから16年が経ちましたが、防波堤上の壁画は綺麗な状態で残っています。毎年台風、時化に耐えてきただけではなく、あの東日本大震災の津波にも耐え



▲遊覧船から壁画を見学する参加者

まさしく「奇跡の防波堤壁画」と言っても過言ではありません。

今回の企画は、国土交通省東北地方整備局発注の小名浜東港地区護岸(防波堤)工事を請負った、東洋・本間・株木JVが工事のイメージアップとして、小名浜まちづくり市民会議の共催及び国土交通省小名浜港湾事務所のご協力を頂き、作画に参加された方々から家族も含め希望者を募り、遊覧船(ふえにつくす)で奇跡の防波堤壁画を見学した後、当時報道された映像を観て、当時を思い出しながら、小名浜と小名浜港の未来に想いを託して頂きました。また、国土交通省小名浜港湾事務所尾崎所長より、「小名浜港における東日本大震災被害及び復旧について」と題して記念講演をしていただきました。

当日は、当時の小学生及び家族、先生28名及び国土交通省、東洋JV、市民会議を合わせて52名が見学会に参加し好評のうちに無事終了しました。

8月全体会議

昨年11月に小名浜の町並みを走った低速の小型電動バス「グリーンスローモビリティ」。本年度いわき市が環境省公募事業の採択を受け、実証運行が実施されます。

8月26日、まちづくりステーション小名浜において8月全体会議が開催され、前述の実証事業について、いわき市創生推進課をお招きし、お話しいただきました。同課の松本雄二郎課長により、今年はソフトバンクと連携し、平日はスマートフォンを使って「呼べば来る」デマンド型の運

行、土日は昨年のような巡回型の運行を予定しているとのこと。小名浜地区は10月から来年3月までの間で、100〜120日間程度の運行予定となるそうです。松本課長の説明後には参加者がグループにわかれ、乗降ポイントや運賃につ

いて、また、モビリティ用を地域の商業施設や店舗でのサービスといかに連携させるか、意見を出し合いました。



小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ 全体会議開催のお知らせ

9月24日午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、9月全体会議を開催します。今月は内郷、勿来、常磐などのまちづくり市民団体と意見交換・情報収集を行う予定です。会員の皆様は是非ご参加ください。

会議内容など変更する場合がございますので詳しくは小名浜まちづくり市民会議(52-1275)までお問い合わせください。

第66回 いわき花火大会フォトコンテスト

今年もいわき花火大会フォトコンテストを開催します。作品の展示はいわき・ら・ら・ミュージウ展示スペースをお借りして9月30日〜10月7日まで開催致します。グランプリなどの発表表彰は10月6日を予定しています。

プロから個人の作品展まで、小名浜の夏を彩った迫力ある写真をぜひご覧ください。



▲昨年のグランプリ「流彩」

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？

年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込み：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜)

TEL：52-1275 FAX：52-1415

http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp



©小名浜まちづくり市民会議 / 福島ガイナックス